



まちづくり&組織の活性化
ファシリテーション

2016 ANNUAL REPORT SOCIAL ACTY

一人ひとりが生き生きと生活できる社会の実現を目指しています。

◆ What's Social acty ? ◆

「一人ひとりがいきいきと生活すると集団や組織もいきいきしてくる。

そして、社会全体もいきいきしてくる。」

そんなことを願っています。

そのためには、一人ひとりが持っている能力が発揮できること。

それを引き出すお手伝いをしたいと考えています。

Facilitationは、引き出す、容易にする、という意味があります。

能力を引き出す、やる気を引き出す、成果を引き出す。

まちづくりも組織も社会も楽しくなりますね。

ご興味がある方はお気軽にお問い合わせください。



E-mail social-acty@m4.catvmics.ne.jp

TEL 0564-53-0370

<http://social-acty.com>

代表取締役 林 加代子



子ども会議

子どもと大人の 合同ワークショップ

女性と若者

地方創生 総合戦略

地域の輝く女性 リーダーセミナー

小学生、中学生、高校生の
対話の場
女性が輝く場をファシリテート

- ・中高生が対話をしながら選挙について考え、模擬選挙をしました。
- ・参加者は女性だけという新しい試みで、女性が暮らしやすい具体策を提案できました。
- ・女性だけで地域の防災について語り合いました。

女性の防災など

つながる

広域連携に 関する 研究会WG

首長と住民の 懇談会



フューチャーセッション

自治体がつながる、
市民がつながる場を
ファシリテート

地方創生推進 広域連携

未来茶輪など

- ・広域をつなげるプロジェクトのワークショップをしました。
- ・会場全体で対話できるような住民懇談会を目指して、ファシリテートしました。
- ・人と人が集まり、未来を語り、実現していくフューチャーセッションのファシリテートが増えてきました。



ファシリテーター 先進事例視察

Research

論文発表

R&D

- ・ファシリテートしてきたいくつかの事例をまとめ、雑誌に発表しました。
- ・ワールドカフェやフューチャーという対話の手法を応用してワークショップを行いました。
- ・大学の講義の中で、アクティブ・ラーニングを試みています。

対話手法の活用

Development

アクティブ・ ラーニング手法



◆ 2016年ふりかえり

対話を中心としたワークショップをデザインし、実行する機会に恵まれた2016年でした。メンバーチェンジしながらワークショップを重ねることが、ワークショップの成果だけでなく、その後の「実行」にも好影響があることを確信しました。中高生を対象に「選挙」をテーマとしたセッションは、子どもたちの反応に頼もしさを感じ、大人の責任を思うものでした。「外部評価」という新しい分野にも踏みだしました。この分野でもファシリテーションのスキルを活用すると、行政と住民がつながり、市民参加が進むよ2017年は、知識や経験をさらに積み重ねていくとともに、活用する分野も広げてまいります。